

■河合寸翁 藩政家。同僚と意見が合わず雌伏、40過ぎに登場して、藩の殖産興業に驚くべき貢献をした。

かわいすんおう

明和事件・・・1767＝ 姫路城中御門内で、今川家家臣を祖とする川合甚四郎宗見の次男に生まれる。

兄が夭折したため、嫡男となり、

田沼意次老中1772＝ 5歳：

雨月物語刊・1776＝ 9歳：

・・・1777＝10歳：登城を命じられ、2代藩主酒井忠以の寵愛を受けて、直接茶道を教授され、

江戸船蝦夷来 1778＝11歳：正式に謁見を許されて四書を授けられる。

蘭学階梯・・・1783＝16歳：姫路藩年寄見習となり、

蝦夷初調査・1785＝18歳：

田沼意次失脚1786＝19歳：

寛政改革始・1787＝20歳：父が死去して家督相続。家老席に列したが、同僚と意見が合わず、門を閉じ、読書に専心。

混浴禁止・・・1791＝24歳：林田藩家老の娘と結婚。

松平定信引退1793＝26歳：

ワソガ 正月・1794＝27歳：

アメリカ船来航始1803＝36歳：

バブ来航・1804＝38歳：男子が無かったため、松下高知の次男良翰を養嗣子に迎える。

フェートン号事件 1808＝41歳：\*3代藩主忠道に懇請され、諸方勝手向に就任して、藩政を任され、73万両の借財をかかえた姫路藩の財政改革を行なう。財政整理とともに殖産興業を行なう。

・・・1810＝43歳：川合姓を河合姓に変える。

ゴロウオン拿捕 1811＝44歳：養蚕所・織物所の設立を計画。朝鮮使節応接のため対馬に下向した林述斎が姫路に立寄り、親交。

高田屋拿捕・1812＝45歳：500石加増されるも、固辞するが、

黒住教・・・1814＝47歳：藩主の懇請で、受け入れて、1500石となり、

水野忠成老中1818＝51歳：

群書類従完結1819＝52歳：藩主世子の婚約を機に、3000石に加増。

・・・1820＝53歳：陶器所を設け御庭焼を製した。また木綿切手会所、木綿会所を設けて木綿の専売に乗出し、

伊能図完成・1821＝54歳：藩主忠実から与えられた山荘の地に、学問所(仁寿山齋)を開設。以後、頼山陽はじめ一流学者が来訪。

英船浦賀来航1822＝55歳：実子良臣が誕生したため、良翰の養嗣子とされる。養蚕を藩業とし、やがて織物所の設立を実現。朝鮮人蓼の栽培も始める。

シボ 朴来日・1823＝56歳：ようやく江戸で木綿専売を認められ、木綿会所より国産木綿の江戸への直送を始め、

シボ 朴鳴滝塾1824＝57歳：革会所を設けて製品検査を行ない、重要な国産たらしめた。

富籤流行・・・1830＝63歳：人参製造所を設ける。

富籤三十六景1831＝64歳：\*染物工場を開き、高砂染として知られた。藩主世子の婚礼を機に、5000石に加増。

こうして、藩債を完済したばかりでなく、臨時出費76万両を支出した上、なお黒字を残し、

高島砲術・・・1834＝67歳：藩主に隠居を願い出て、

滑稽+人情本 1835＝68歳：\*許され、家督を譲って、良翰が家老となる。隠居料200人扶持に加え、隠居所まで賜るが、

・・・1836＝69歳：天保の大飢饉が起こると、知行高3割の上米を願い出、隠居料も(仁寿山齋)の費用に寄付し、

大塩平八郎乱1837＝70歳：

蚕社の獄・・・1839＝72歳：

天保改革始・1841＝74歳：没した。

なお大塩平八郎とも親交があった。